



ごしよども
御所解模様打掛 大正期

会 期

2025 7/8 火
令和7年

— 9/28 日

展示解説

8/2 土 9/6 土

旧長谷川治郎兵衛家企画展示

長谷川家で涼を味わう
夏を彩る扇と団扇



自筆句入扇子 長谷川可同 筆



朝顔図団扇 二井栄逸 画



墨竹図扇面(屏風一部) 円山応震 画

入館料 (円)

区分	単館券		3館共通券	2館共通券	
	一般	6歳以上18歳以下		一般	6歳以上18歳以下
旧長谷川家	400 [330]	200 [160]	570 [450]	490 [390]	240 [190]
旧小津家	200 [160]	100 [80]			
原田旧宅	100 [80]	無料		—	

※〔〕内の料金は、20名以上の団体料金です。

※3館共通券は、旧長谷川家・旧小津家・原田旧宅に入館できます。

※2館共通券は、旧長谷川家・旧小津家に入館できます。

開館時間 9:00~17:00 (入館は16:30まで)

休館日 水曜日 (祝日の場合は翌平日が休館日)

アクセス 電車: 近鉄・JR松阪駅から徒歩10分 / 車: 松阪ICから約10分

お問い合わせ



NPO 法人松阪歴史文化舎

〒515-0082 三重県松阪市魚町1653番地(旧長谷川治郎兵衛家内)

TEL: 0598-21-8600 FAX: 0598-20-9111



HP



LINE



Instagram



YouTube

2025

5.20^火▶8.3^日

かんてんじゅ

没後230年記念展 書家韓天寿



△ 印判 江戸中後期

書家として活躍した松阪職人町（中町）の江戸店持ち商家中川家（田丸屋）の当主韓天寿（1727-1795）の書画作品や関連資料を展示します。

◆学芸員による展示解説

7/13（日）の午前11時より20分ほど ※入館料のみ必要

韓天寿が作品完成の際に捺した印。同じ松阪出身の木綿商長谷川家が所蔵していたもの。

2025

8.5^火▶9.28^日

松阪広告百景

松阪は各地から訪れる伊勢参りの旅人で賑わい、宿場町として発展してきました。江戸から昭和へと時代は移り変わりますが、松阪の街は大きな賑わいを見せ続け、商店が趣向を凝らした看板や広告があふれました。本企画展では、明治期の引札や昭和期のチラシなどをご紹介します。

◆学芸員による展示解説

8/23（土）、9/20（土）の午前11時より20分ほど ※入館料のみ必要

◆学芸員によるミニ講座

タイトル：広告から見た松阪

と き：9/20（土）10時～11時

定 員：先着15名（申込不要） ※入館料のみ必要

〒515-0081 三重県松阪市本町2195番地



△ 引札 明治頃

中村商店（湊町）の引札で、清酒を販売していたことがうかがえる。

2025

4.29^火▶7.21^月

原田二郎とその師たち

近代において実業家として活躍し、晩年には原田積善会を創設するなど、大きな功績を残した原田二郎（1849-1930）が出会った様々な師たちに焦点を当て、彼らにまつわる品々を通して、原田二郎の学びの軌跡をたどります。



△ 原田嘉朝集 昭和6年（1931）

原田積善会より刊行された原田二郎の歌集。跋文は二郎に和歌を教えた佐佐木信綱が執筆している。

2025

7.24^木▶9.28^日

松坂城主 古田重勝と弟重治

古田重勝は、秀吉の命により文禄4年（1595）に松坂城主となります。重勝没後は、弟の重治が重勝の遺児 希代丸（後の重恒）を立て、自らは後見人として補佐役に徹しました。本企画展では、松阪市内に残る古田家に関する資料を展示し、古田家の足跡を紐解きます。

◆学芸員による展示解説

8/16（土）、9/13（土）の午前11時より20分ほど ※入館料のみ必要

〒515-0073 三重県松阪市殿町1290番地

▽ 古田重治書状 江戸初期

古田重治が駿府に住む佐藤勘右衛門継成に宛てた書状。

